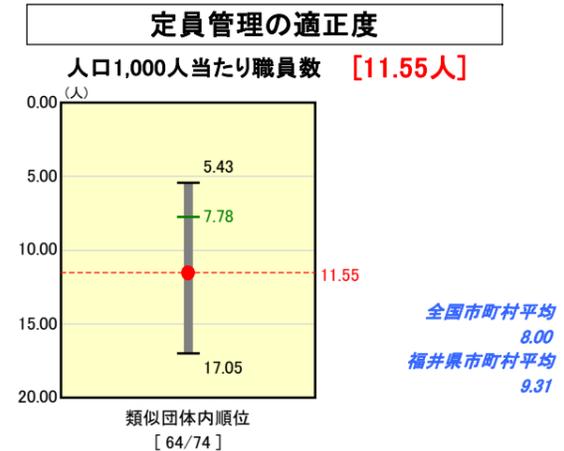
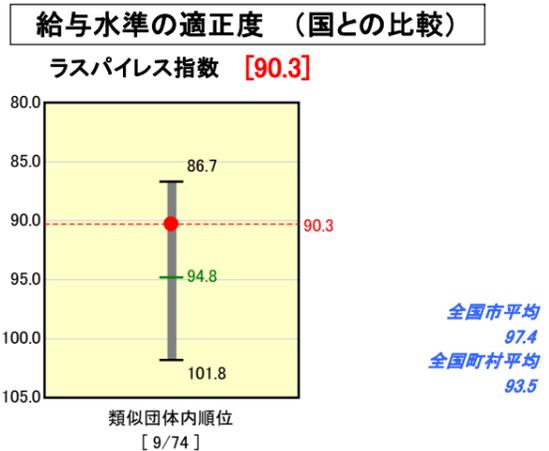
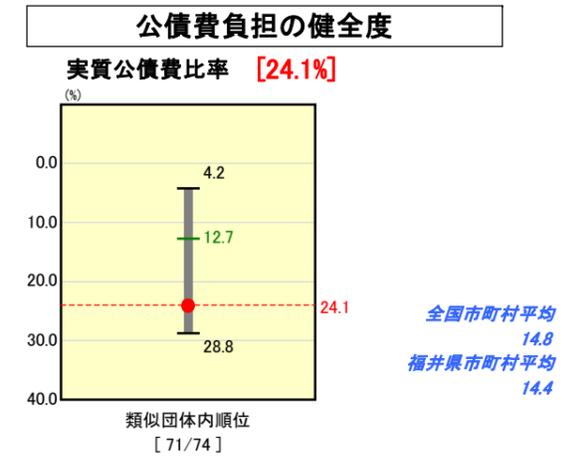
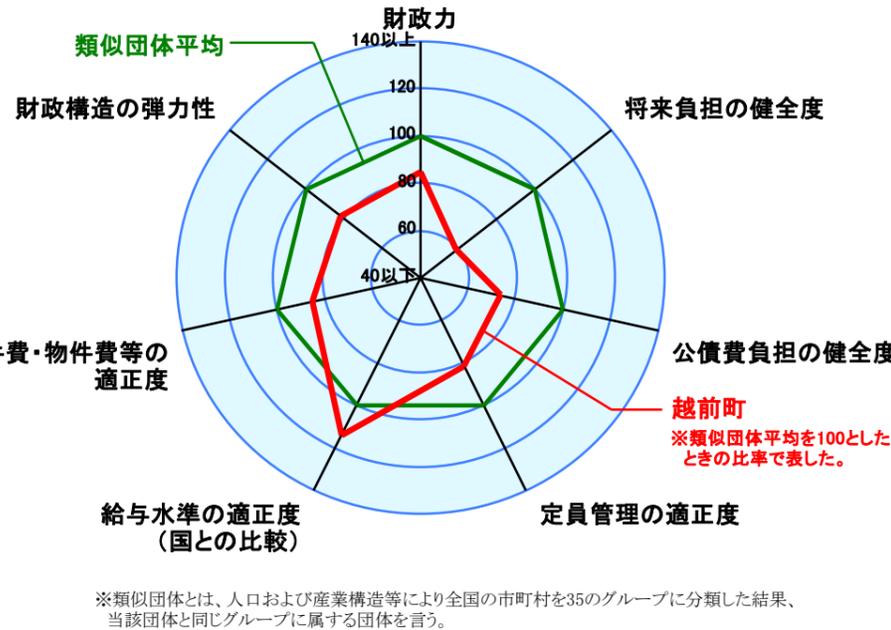
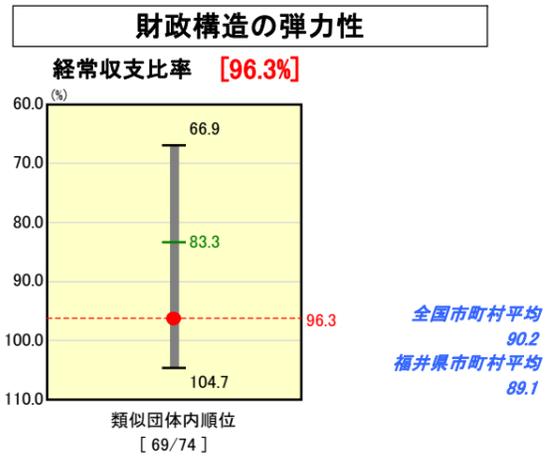
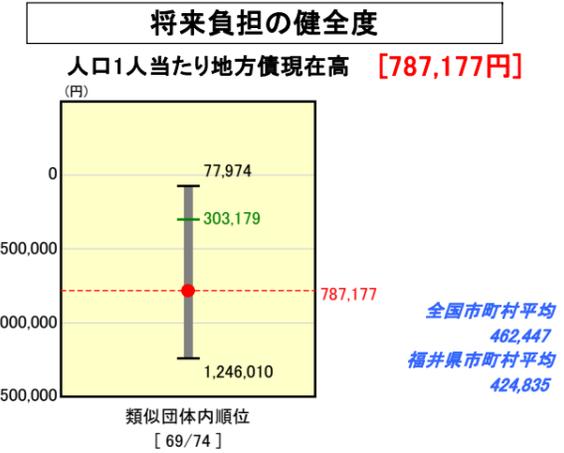
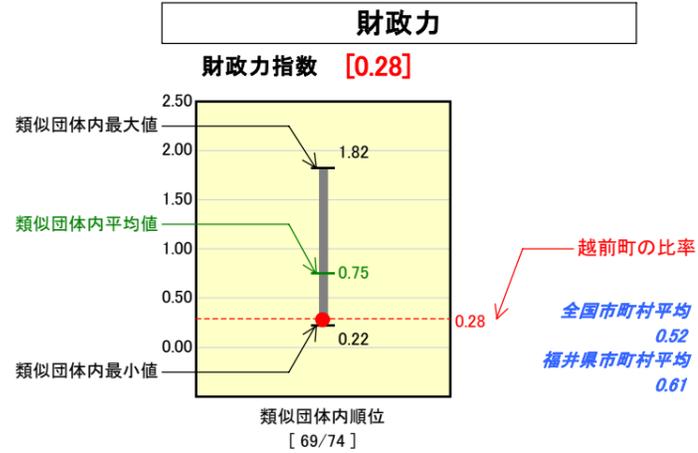


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福井県 越前町

人口	24,926	人(H18.3.31現在)
面積	152.91	km <sup>2</sup>
歳入総額	16,535,730	千円
歳出総額	15,744,638	千円
実質収支	774,693	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

※平成17年2月1日に、旧朝日町、旧宮崎村、旧越前町、旧織田町が合併し、越前町となった。

- 財政力指数**  
人口の減少や少子高齢化の進展、長引く景気の低迷に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。行政組織のスリム化に取り組みながら、民間に委託可能な業種の民営化や施設の統廃合・有効活用等による歳入の削減と、「総合振興計画」に沿った施策の重点化の両立に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率**  
福祉関係経費の増加により96.3%と類似団体平均を大きく上回っている。今後は「集中改革プラン」(17年度策定)および「公債費負担適正化計画」(18年度策定)に基づき、職員の定員管理や給与の適正化により人件費充当一般財源等額の削減を図るとともに、既往債の繰上償還や新発債の抑制、公営企業会計の使用料の改定や既存施設の統廃合・外部委託など企業経営の改善を図ることにより公債費及び繰上金充当一般財源等額の削減を図る。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。合併により職員数が類似団体水準を超えているが、17年度に策定した「定員適正化計画」に基づき適切な定員管理に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高**  
類似団体平均と比較して大きく上回っている。後世への負担を少しでも軽減するよう、「公債費負担適正化計画」に基づき、新発債の抑制等を行い類似団体平均の水準となるように努める。
- 実質公債費比率**  
平成16年度の減税補てん債の満期一括償還や合併前の旧町村において整備を進めてきた上下水道や病院など公営企業会計における建設事業債の発行に伴う公債費に対する普通会計からの繰上金が多いため、類似団体平均を大きく上回る24.1%となっている。今後は18年度に策定した「公債費負担適正化計画」に基づき、既往債の繰上償還・新発債の抑制・公営企業への繰上金の抑制を図り、計画期間中(18年度～24年度)に18%未満に引き下げる。
- ラスパイレズ指数**  
類似団体の中では90.3と低い水準となっている。今後も国家公務員の給与に準じ、より一層の給与の適正化に努める。
- 人口1,000人当たり職員数**  
合併により職員数が類似団体の水準を超えているが、17年度に策定した「定員適正化計画」に掲げた数値目標(21年度までに25人(6.5%)削減)を再度見直し、退職者に対する職員の新規採用を抑制するなど、より適切な定員管理に努める。(24年度までに33人(8.7%)削減)